

森づくり通信

No.76

2025年(令和7年) 6月 26日(木)発行／金沢森づくりサポートバンク事務局

〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



旅行にいく目的は人それぞれだと思いますが、行程の中に神社仏閣を入れることも多いのではないのでしょうか。私も大抵いくつかの神社仏閣の見学(?)を入れますが、必ず立派な樹木を備えた鎮守の森があります。

足を踏み入れた瞬間、清浄で神聖な場所でまさにパワースポットだと感じられます。なかには山自体が御神体という富士山浅間神社や白山しらやまひめ神社などがあります。

森の国といわれ山の日も制定され、どのように利用、整備、保護をしていくのが良いのか難しい問題ですね。

かなりんが Instagram を
始めました！イベント案
内などをするのでぜひフ
ォローしてみてください



令和7年 金沢森づくりイベント情報(一般参加可能分)

日程	イベント内容 (予定)	場所	問合せ先
7月26・27(土・日)	夏休みこどもウツディアート 金沢産の杉材で木工作	玉川こども図書館	金沢市森林再生課 076-220-2217
9月6・7日(土・日)	森のファミリーキャンプ 森の中でキャンプをします	医王の里キャンプ場	テレビ金沢営業部 076-240-9013
9月27日(土)	金沢テクノの森づくり 2025 秋 森林整備活動	金沢テクノパーク	金沢市森林再生課 076-220-2217
10月11日(土)	きんしん東原の森づくり 森林整備とレクリエーション	金沢市東原町	きんしん環境財団 076-231-7990

5月10日(土) 金沢テクノの森づくり

金沢市北陽台に立地する金沢テクノパーク連絡会主催で、企業9社の社員・家族、地元市民、一般市民90名が参加し子ども達の伐倒見学や環境教育の場に使う木のっこ広場の林床整備や奥の侵入竹の伐採、将来企業ごとに記念植樹を行う予定の場所の整備、地元



市民の方々が刈払機を持参していただき、手刈りでは手にあまる場所の整備を担当してもらいスッキリときれいになりました。

作業後は希望者がフィンランド発祥のゲームのモルックを楽しみました。天気も快晴に恵まれ自然の中での活動を満喫しました。





森づくり活動 実施報告



元気な森林を守り育てるため、森づくり活動を行っています。

森林は、私たちの暮らしを守り、様々な恵みを与えてくれます。しかし、手入れ不足や放置されることで森林は荒廃が進み、その働きが充分発揮できず森の恵みや生物の多様性も損なわれます。

大切な森林を守り育てるため、一般市民、企業、地元、NPO法人等の協力を得て森づくり活動を行っています。

＜問い合わせ先＞金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

5/11 (日) 友情の丘森づくり



金沢市校下婦人会連絡協議会の会員の皆さん18名が、医王の里の友情の丘で今年の大雪で傷んだ折損木の処理や枝払い、草刈り作業を行いました。クロモジ茶の試飲をしてもらい、現地のクロモジを前にしてクロモジについて知ってもらいました。

5/17 (土) きんしんの森づくり



金沢信用金庫職員と家族、市民、地元町会の皆さん111名が参加し森づくり活動を行いました。竹やぶの整備や全国植樹祭で植えたクスギ林の草刈り、森に入る道の修繕とスノコでの木道づくりなどを行いました。地元のめった汁も美味しかったです。

5/18 (日) ダンロップの森づくり



ダンロップタイヤ北陸カンパニーの社員と家族51名が、キゴ山のダンロップの森の整備作業を行いました。

林内の草刈りと見晴台の草刈りを行ってから、カラマツの苗を15本植え、看板の修復手直し作業も行いました。

5/25 (日) スポーツとみどり de ハッピーフェスタ



南総合運動公園で金沢市スポーツ事業団主催のスポーツとみどり de ハッピーフェスタが開催され、木工工作を行ってほしいとの依頼を受けマルチスタンドを作りました。親子54名の参加があり木を使うことと地球温暖化防止の関係も話をしました。

6/8 (日) 北の森 森づくり



金沢市と地域住民が森づくり協定を結んでいる北の森は、堅田城址として土師器など多数の出土品が見つかっています。

今回は地元住民の皆さん9名が参加し、頂上の見晴らし台の草刈りや侵入してきた竹の伐採などの整備を行いました。

6/21 (土) コマツの森づくり



コマツ金沢工場の社員の皆さん約60名と地元町会の皆さんが参加し、草刈りがメインの作業になりましたが、手ガマでは手に負えないところは刈払機での作業。将来植栽予定のヤブはチェーンソーで枯れ木を倒して片付けました。



森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。

例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての話や、森づくり活動の際、現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

4月14日(月) 長町中学校出前講座

長町中学校1年生109名を対象に森林学習の出前講座を行いました。

長町中学校では東長江町に学校林があり、小將町中学校から校名を変更しましたが、毎年5月の創立記念日に合わせて植栽や森の整備を行っています。その前段として1年生を対象に、森林が地球温暖化を緩和することや災害を防止してくれるなどを話し、その大事な森林が適切に管理、保育がなされていない現状も知ってもらったので次回の学校林作業に活かしてもらいたいと思います。



4月15日(金) 内川小学校出前講座

内川小学校では毎年3年生にしいたけ栽培の授業時間を取り、森の働きや利用の方法、里山のことを学んでいます。今回は3、4年生12名を対象に森が私達の飲水を作っていることを、パワーポイントのスライドで紙芝居風の「雨水のぼうけん」を見てもらいました。

教室の授業後ピロティに出てシイタケの話を少し行い、植菌を体験してもらいました。

希望者にはシイタケの駒をいれる植穴あけを手を添えて体験してもらいました。



4月22日(火) 長町中学校植林地森づくり

4月14日の森林について知ってもらう授業に引き続き、今回も1年生109名を対象に学校林の整備とクヌギの苗30本を植える体験をしてもらいました。

金沢城から卯辰山の学校林まで徒歩で集合してもらい、現地では2グループに分かれ、それぞれ指導者が整備の仕方や植栽の仕方を実演・説明し4~5人で1本の苗を植えてもらいました。

整備の方は昨年までに植えた苗の支柱建て直しやヒモの結び直しなどを行ってもらいました。



6月20日(金) 内川小学校出前講座

4月に植菌したしいたけのホダ木の本伏せ作業を行いました。

今回も3、4年生13名を対象にしいたけの話をはじめに行い、仮伏せをしてあったホダ木を運んで竹で作った本伏せのし掛けに立てかけました。

後半はたけのこの産地の内川という事で竹細工に挑戦しました。児童にはノコギリを使って竹を切り筒状のコップやナタで半割にした竹の器を作り、サインペンで飾り付けをして持ち帰ってもらいました。



刈払機・チェーンソー 講習会のお知らせ

講習の種類	開催日	開催場所	締切日
刈払機取扱作業安全教育	令和7年 8月29日(金)	石川森林文化 ホール	令和7年 8月20日(水)
伐木等業務(チェーンソー) 特別教育	令和7年 9月10～12日 (水)～(金)	石川森林文化 ホール	令和7年 8月28日(木)

刈払機やチェーンソーを安全に正しく使うための講習会が実施されています。

登録会員の方々には受講に対しての支援を行っていますので希望される方はぜひ受講してください。

会場は 石川県森林文化ホール(金沢市東蚊爪 1-23-1)

※お問い合わせ・お申し込みは期日までに金沢森づくりサポートバンク事務局までお願いします。

※必ず金沢森づくりサポートバンクにお申し込みください。(直接申込みは補助対象になりません)

金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

「金沢森づくりサポートバンク」

<http://kanazawa-moridukuri.com/index.html>

森づくりイベントの案内や会員の皆さんの活動の様子を掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどもできるサイトとなっています。

また、サイト内には年4回発行の「森づくり通信」も閲覧できるようになっており、団体会員の活動紹介もさせて頂いております。ぜひ1度ご覧ください。



編集雑記

「ショック」

毎回私事で申し訳ありませんが今回はショックなことがあり書かせていただきたいと思います。今年の冬は山雪型で私の山小屋がある白峰の奥の雪は想像を絶するものがあつたようです。例年ならゴールデンウィーク前に白山公園線のゲートが開くのですが今年はなかなか開かない中、北陸電力から電話があり、山の小屋が全壊しているので通電を止めたいとのこと。

それでも倉庫も入れて 3 棟あるので倉庫の方であってほしいと願っていましたが、母屋の方だと確定する写真を送られてきてショックが大でした。

ゲートが 5 月 16 日に開き数日後確認に行ったところ屋根が乗った形で無惨な形の全崩壊でした。早速子ども達も連れて行き片付けに入りましたが思うように進みません。普段住んでいない家屋でも片付けも大変だしショックもあるのに、能登の地震で被害を受けた人たちがショックで言葉も出ないしどうすればいいのかもわからないと言っていたのを思い出します。

親が冬以外に寝泊まりして作業をしたり、登山のイベントで前泊をしたりと色々な思い出詰まった所なので、片付けてスッキリさせてから今後の事を考えたいと思います。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

